

「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

①学年・組	②職名・授業者氏名	③教科	④ペアでの話合い活動	⑤グループでの話合い活動
5年1組	津江小学校	国語	有・無	有・無
⑥単元名(題材名)	文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう			
⑦本時のねらい	文章の要旨を、話題や全体の構成、キーワードに着目させることによって、事例の細部にとらわれずにまとめることができるようにする。			
⑧本時の評価規準	【思考・判断・表現Cア】 叙述を基に事実と感想、意見などとの関係を押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨をまとめている。〔ノート〕			
⑨展開	めあて	自分の考えをもつために、筆者が最も伝えたいことを 150 字以内でまとめよう。		
	課題	要旨をまとめるときには、どんなことに気をつけるとよいのかな。		
		手立て	<b>「C:努力を要する」状況の児童への手立て</b> ・ 題名や繰り返し出てくる言葉に着目させることで、「コップ」「食事」「外国語」といった話題は事例であることに気づかせる。 ・ 内容を整理した表から、序論と結論部に要旨が書かれてある両括型の文章であることに気づかせる。	
			<b>「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て</b> ・ 声を出して発表することが難しい児童に対して、ホワイトボードに書いたものを提示して友だちに伝えることができるようにする。	
	まとめ	要旨をまとめるときには、次のことに気をつけるとよい。 ・ 文章の話題と、全体の構成を確かめる。 ・ 繰り返し出てくる言葉に着目する。		
振り返り	・ 全体の構成をつかむと、筆者が最も伝えたいことがすぐにわかった。 ・ この次からは題名も見逃さないようにしたい。 ・ 筆者が最も伝えたいことがわかったから、次は自分の考えをみんなに知らせたい。			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p><b>ふり返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体の構成をつかむと、筆者が最も伝えたいことがすぐにわかった。</li> <li>・ 題名も見逃さないようにしたい。</li> <li>・ 次は自分の考えをみんなに知らせたい。</li> </ul> </div> <div style="width: 20%;"> <p><b>まとめ</b></p> <p>要旨をまとめるときには、次のことに気をつけるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章の話題と、全体の構成を確かめる。</li> <li>・ 繰り返し出てくる言葉に着目する。</li> </ul> </div> <div style="width: 20%;"> <p><b>全体の構成</b></p> <p>両括型(サンドイッチ型)</p> <p>↓ 筆者の主張が「初め」と「終わり」に直接的に書かれてある。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p><b>文章の話題</b> どのようなお話？</p> <p>「コップ」「食事」「外国語」：事例</p> <p>「言葉の意味」：話題(題名にも)</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p><b>課題</b></p> <p>要旨をまとめるときには、どんなことに気をつけるとよいのかな。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p><b>めあて</b></p> <p>自分の考えをもつために、筆者が最も伝えたいことを百五十文字以内でまとめよう。</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p><b>題名</b> は大事！</p> <p>言葉の意味が分かること</p> <p>筆者 今井むつみ</p> </div> </div>				

